

2023年4月28日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社をくだ屋技研に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社をくだ屋技研（代表取締役社長：奥田 智）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社をくだ屋技研については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 重量物運搬機器開発による顧客の働きがい・生産性の向上、省エネの推進等による環境負荷低減

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。
	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。

- ② 人材育成や大学との共同研究を通じたイノベーションの推進

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.5 2030年までにイノベーションを促進させることや100万人当たりの研究開発従事者数を大幅に増加させ、また官民研究開発の支出を拡大させるなど、開発途上国をはじめとするすべての国々の産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力を向上させる。

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



PPA モデル事業として本社屋上に太陽光パネルを設置し、『D-Green RE100』を導入。本社工場で使用する電気を全て再生可能エネルギー100%の電気として生産販売活動を行い CO2 排出削減に寄与します。

異業種他社との共同研究開発。パートナーシップによってそれぞれの強みを活かすことで、開発時間の短縮や課題解決力を高め、付加価値を創出して参ります。

「小さな力を大きなチカラに」を軸に女性や高齢者の方にも負担の少ない荷役運搬機器を通じ社会で活躍できる場を増やしたいと考えます。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上